

土木管理総合試験所、北海道に8,900㎡の“研究ラボ”本格稼働 土木建設に関わる多様な研究開発が可能 業界のイノベーション促進を目指す！

テクノロジーで土木、建設業界に様々なソリューションを提供する株式会社土木管理総合試験所（所在地：長野県長野市 代表取締役 下平雄二）は、北海道苫小牧市の研究ラボ「ジオロボティクス研究所」を7月より本格稼働することをお知らせします。本施設は、8,900㎡という広大な土地で土木建設工事における様々な試験調査の技術・研究開発を目的としており、当社だけではなくあらゆる企業様にご利用いただける施設です。さらに今回の本格稼働により、これまで難しかった技術・研究開発のスピードを格段に高め、最新のテクノロジーで建設コンサルタント業界を変革することを目指します。



室内試験ヤード



AS舗装盛土・地盤ヤード



模擬床版コース

新型コロナウイルスの影響で、あらゆる業界業種のデジタル化およびDX化が加速しております。建設コンサルタント業界においてもデジタル化は進んでいる一方で、さらに加速度的に進化させる必要があると考えており、本施設は、業界としてのテクノロジーを一步前に進めるとともに当社においても研究開発力が競争優位性を高めると考えております。

本施設では、屋内外の地盤試験ヤードを備え、コンクリート床版の劣化診断ができるテストコース、AS舗装盛土のテストコースが用意されており、土質地質からコンクリートまで、幅広い技術の研究開発が可能となっております。

すでに、地盤改良工法の新工法のテスト、地中レーダのテスト、UAV体験会、セミナーの開催等を実施しております。

<施設概要>

- 施設名称 : ジオロボティクス研究所
- 所在地 : 北海道苫小牧市字植苗196 番地26
- 敷地面積 : 約89,000平方メートル
- 施設概要 : 地盤試験ヤード、床版テストコース、AS舗装盛土コース、技術者育成に向けた研修施設

当社は、これまで道路や橋梁の異常を簡単に調査できるAiサービス「ROAD-S」を筆頭に、積極的にテクノロジーを開発、採用してきました。今回のジオロボティクス研究所には、当社の研究開発スタッフを常駐させ、テクノロジーの開発スピードを高めていきます。また、本施設は、ゼネコンや他の建設コンサルタンツ会社、大学などの研究機関にも利用いただき、これにより、当社だけの自社単独で蓄積できない技術やノウハウを外部の知見、人工知能（AI）などの先端技術を活かした共同研究により、革新的な調査・分析装置やサービスの開発をしていく予定です。膨大な情報「ビッグデータ」を使ったソリューションも計画しています。

【土木管理総合試験】

インフラを構成する土の強度などを調べて改善する土質・地質調査試験、道路・橋梁などのコンクリート構造物の劣化調査等をする非破壊調査試験、建設工事が環境に与える影響を調査する環境調査試験等を手がける総合建設コンサルティング企業。業界では類のない「土」「コンクリート」「環境」全領域に渡りワンストップで対応可能。自治体、ゼネコン、道路事業者などをクライアントとしてサービスを提供しております。

【会社概要】

- 社名 : 株式会社土木管理総合試験所（プライムコード6171）
- 所在地 : 2本社、14支店、5出張所、4試験センター、1研究所
【長野本社】長野県千曲市雨宮2347-3
【東京本社】東京都台東区上野5-15-14-5F
- 事業内容 : 試験総合サービス事業：土質・地質調査試験、非破壊調査試験、環境調査試験
: 地盤補強サービス事業：地盤補強工事
: ソフトウェア開発販売事業：ソフトウェア開発・販売
: その他事業：試験機器販売等
- URL : <https://dksiken.co.jp/>
: <https://service.dksiken.co.jp/>

<報道関係者からの問い合わせ先>

土木管理総合試験所 広報担当：塩入 奈央

TEL：03-5846-8385 E-mail：n-shioiri@dksiken.co.jp